

教育広報

いるま

第63号
平成28年2月題字：教育長 西 澤 泰 男
編集：教育広報いるま編集委員会
発行：入間市教育委員会学校教育課
電話 04-2964-1111(内 4145)

東町小学校の児童が東町中学校で合同授業

入間市小中一貫教育研究発表会を行いました！

入間市教育委員会では、平成25年度から文部科学省より「小中一貫教育による多様な教育システムの調査研究」の委託を受け、研究を進めてきました。平成26年度からは市内全中学校区で小中一貫教育を開始しました。

そして、11月6日（金）に入間市小中一貫教育研究発表会を行い、北海道から宮崎県までの教育関係者38名を含む800名の皆様に参加をいただきました。今号は、この研究発表会についてご紹介させていただきます。

今後とも、保護者や地域の皆様のご理解ご協力をいただきながら、各小中学校区の特徴を生かした小中一貫教育を推進してまいります。



今、未来が始まるとき。

文部科学省委託 入間市 小中一貫教育研究発表会

本市の小中一貫教育のねらいは学校力を高め、豊かな人間性を育むことにあります。

子ども未来室事業の取組の中で、小中一貫教育を推進してきました。

研究発表会の全体会には229名（県外からは38名）、分科会には614名の参加があり、入間市の教育を広めることができました。



全体会 会場

これまでの主な取組

- 1 教職員の交流
合同研修、指導計画策定
- 2 乗り入れ授業
小学校→中学校 中学校→小学校
- 3 子供の交流
合同授業 あいさつ運動 行事
- 4 地域との交流
地域の行事に参加



研究発表の様子

1

平成21年度
子ども未来室事業開始 **保幼小の連携**

平成23年度
県教育委員会研究委嘱 **モデル校の取組**
「小中一貫教育推進モデル事業」

平成25年度
文部科学省より調査研究の委託

平成26年度
全中学校区小中一貫教育 **小中一貫教育**

保幼小の連携からスタート

2

教師の資質向上・学校力の向上 → 「豊かな人間性」の育成

教師の交流 → 教師の専門知識 教師の資質の向上 → 学力向上 → 豊かな人間性

児童生徒の交流 → 人間力の育成と 6年生の不安の軽減 → 不安の軽減

発達に課題・障害のある子どもへの 連続性のある支援

小中一貫教育のねらい

5

不登校児童生徒は確実に減少

6

新しい教科や教科担任制への不安

26年度小6: 28%
27年度中1: 21%

小6→中1で不安は7%減少

3

保幼小中高のなめらかな接続

4

入間市小中一貫教育 各教科単元系統表

「小中一貫学習の手引き」

小中の接続のために作成

7

保護者の意識調査(H27.1月実施)

小中一貫教育は良い取組か

88%の保護者が良いと評価

8

1 小中教職員の協働意識の向上

- 9年間の学びと育ちの連続性を 大切に
- 小中お互いのおさを認め合う意識 大切にする意識

2 児童生徒の不安感の軽減

- 小・中学校生活の落ち着き
- 不登校児童生徒の減少
- 中学校への不安軽減

これまでの成果

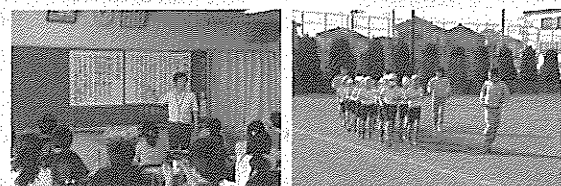
平成27年度 小中一貫 教育研究発表校

東町中学校区

主体的に学び、心豊かにたくましく生きる児童生徒の育成

～9年間の学びと育ちの連続性を通して～

東町小学校



中学校教師による乗り入れ授業・合同授業

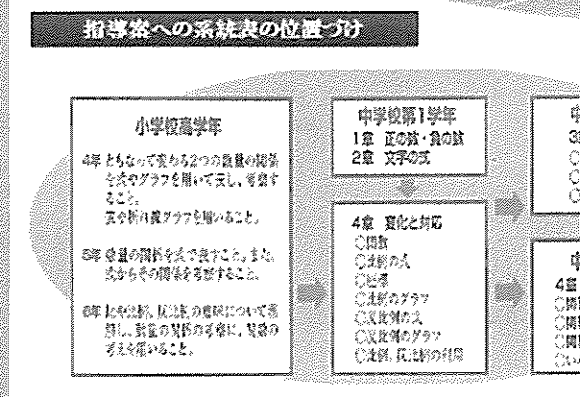
【成果】行事や合同授業を通して児童は中学生にあこがれを持ちました。教員は保幼小中の系統性を意識するようになり、指導力の向上が図れました。

東町中学校



小学校教師による乗り入れ授業・合同授業

【成果】9年間を見通した生徒指導や授業により校内が落ち着きました。教員は小学校からの系統性を意識するようになり、指導力の向上が図れました。



● 小学校と中学校の学習のつながりを考えて乗り入れ授業を実施

黒須中学校区

知・徳・体の調和のとれた児童生徒の育成

～小中一貫教育の手法を用いて～

黒須小学校



1分前着席と「静寂」 授業のユニバーサルデザイン化

【成果】小中一貫教育の取組を通して、小学校から中学校へのスムーズな接続を図りました。児童生徒の交流が深まり、学力・体力の向上につながりました。

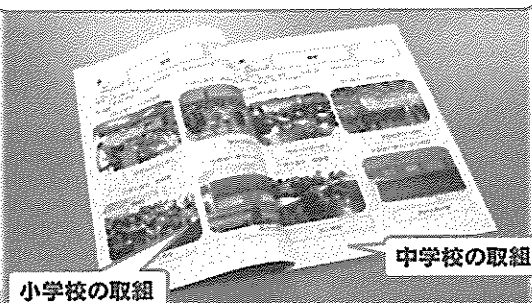
黒須中学校



5分前行動と「静寂」 授業のユニバーサルデザイン化

【成果】小中での継続性・一貫性のある指導により、学校の落ち着きと「静寂」が確立しました。生徒の人間関係の深まりや学力等の伸長にもつながりました。

『学びの手引き』の作成・活用



人としてのマナー：姿勢

小学校



中学校

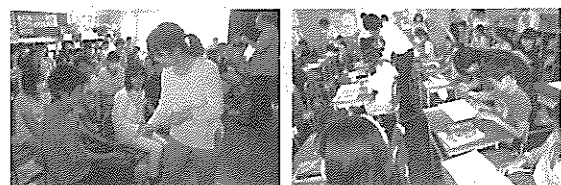


● 学びの手引を活用して小学校と中学校で同じ指導

豊岡中学校区

豊かな心を育み、確かな学びをつなぐ小中一貫教育の推進

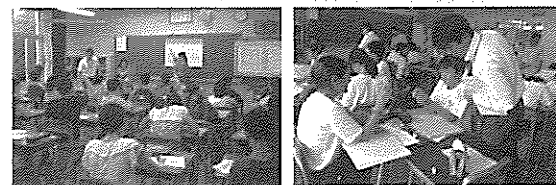
豊岡小学校



英語教師と一緒にの活動 数学教師による支援

【成果】小中教師の乗り入れ授業と児童生徒間交流の体制が整い、個に応じた支援が充実しました。研究を通じ、指導方法についての共通理解が深まりました。

高倉小学校



中→小へ乗り入れ授業 小→中へ乗り入れ授業

【成果】教科・教師・学年を絞り、「質の充実」を図ることができました。さらに、行事の精選を行い、児童生徒間の交流も充実させることができました。

豊岡中学校



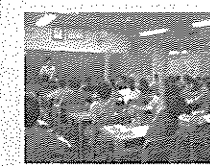
母校訪問 合同研修(授業検討)

【成果】母校訪問や合唱祭練習の見学により、児童生徒の交流は活発になりました。また、乗り入れ授業や合同研修により、小中一貫教育の意識も深まりました。

体験授業



中学校生活



● 体験授業などで不安を払拭

平成28年度 小中一貫教育研究発表校 (平成28年11月11日予定)

藤沢中学校区

主体的に思考・表現し、協調的に活動できる児童生徒の育成

～9年間の学びと育ちの連続性を通して～

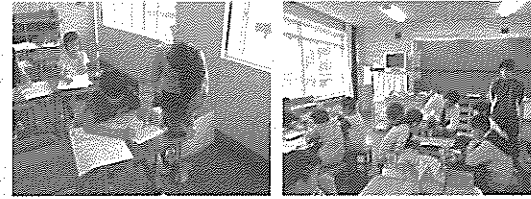
藤沢小学校



理科の出前授業 歌声交流会

【来年度に向けて】中学校の教師や生徒との交流を通して、中学校進学へ滑らかな接続をし、不安解消を行っていきます。

藤沢北小学校



サマースクールの補助 中→小乗り入れ授業

【来年度に向けて】中学校教師の乗り入れ授業の活性化を通して、中学校への不安をさらに解消していきます。

藤沢中学校



小中交流会の様子 体育祭に小学生を招待

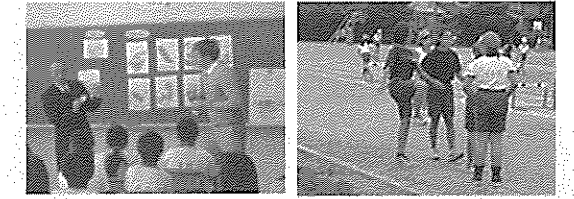
【来年度に向けて】児童と生徒の交流を通して、中学校への不安を解消すると共に先輩としての自覚を持たせていきます。

向原中学校区

自ら学び、心豊かな児童・生徒の育成

～保幼・小・中の連続した学びを通して～

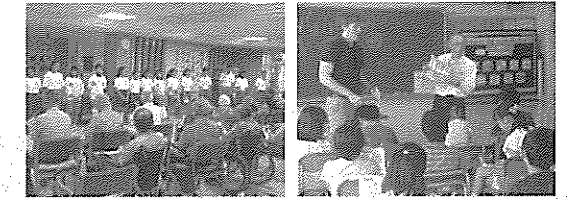
扇小学校



外国語活動で乗り入れ 中学生が小学生に指導

【来年度に向けて】教師同士の授業交流や児童生徒の交流と、それを支える教育課程作りを核に更なる充実を目指します。

向原中学校



地域との交流 英語の出前授業

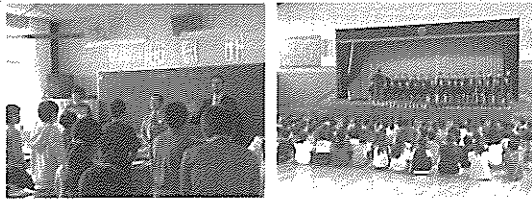
【来年度に向けて】学び合う伝え合う授業の推進、心豊かな生徒の育成、家庭地域との連携を強化していきます。

上藤沢中学校区

心豊かで、主体的に学び合う児童・生徒の育成

～9年間の学びの連続性を通して～

藤沢東小学校



乗り入れ授業の充実 児童生徒間交流の推進

【来年度に向けて】本校の児童は2つの中学校に進学します。中学校区の特徴を生かした小中一貫教育を研究し推進します。

藤沢南小学校



乗り入れ授業 あいさつ運動

【来年度に向けて】乗り入れ授業を通して、教師の指導力を高め、児童の学力向上を図っていきます。

上藤沢中学校



合同研修の充実 一人一人への支援

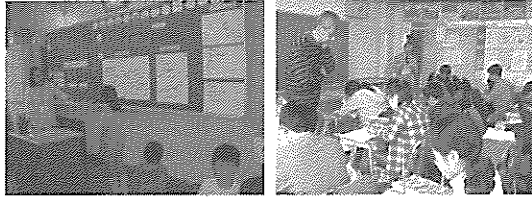
【来年度に向けて】授業を工夫し、学びの連続性を滑らかにしつつ、本中学校区の特徴を生かした一貫教育を推進します。

武蔵中学校区

学習意欲を高め、主体的に学習する児童・生徒の育成

～小・中の連続した学びを通して～

宮寺小学校



ユニバーサルデザインの授業 中学校から乗り入れ授業

【来年度に向けて】武蔵中学校区3校で、ユニバーサルデザイン化したわかる授業、相互乗り入れ授業を継続します。

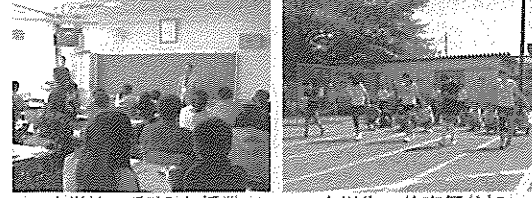
狭山小学校



自力解決学習(発表) ユニバーサルデザインの教室

【来年度に向けて】「一人でも多くの子供に「分かった」「できた」の喜びを」を合い言葉に、ユニバーサルデザイン化に基づく授業に磨きをかけていきます。

武蔵中学校



小学校へ乗り入れ授業 小学生の体育祭参加

【来年度に向けて】ユニバーサルデザイン化した授業や共通した授業規律・生活習慣の確立をめざした取組を継続します。

平成29年度発表校

- 金子中学校区 (金子中、金子小)
- 西武中学校区 (西武中、仏子小)
- 東金子中学校区 (東金子中、東金子小、新久小)
- 野田中学校区 (野田中、西武小)

グッド にゆづす

黒須中学校相撲部が、 昨年に続き、個人で 全国優勝！

黒須中学校 三年
神山 龍一君

平成二十七年八月二十二日・二十三日、青森県十和田市で行われた第四十五回全国中学校相撲選手権大会で、黒須中学校相撲部の神山龍一君が、個人戦で優勝を飾り、「第四十五代中学生横綱」の栄冠を手に入れました。

「個人戦の全国優勝目指して頑張りたいです」という昨年の目標を事に達成しました。

小学二年のときに出場したわんぱく相撲大会で、柔道の先輩に敗れた悔しさから相撲を始めたそうです。「負けん気」と恵まれた体格が武器で、決勝では自分より体格が上の選手を一気に寄り切る落ち着いた取り口を見せました。

昨年の団体・個人での全国制覇に引き続き、市や学校全体に活気を与える快挙となりました。



市長・教育長へ優勝報告

内閣総理大臣賞！

藤沢小学校 五年

齋藤 祐也君

日本武道館会長賞！

金子小学校 六年

堀 ももかさん

第三十一回高円宮杯日本武道館書写書道大覧会で、藤沢小の齋藤君と金子小の堀さんの作品がダブル受賞を果たしました。

力強くパランスの取れた「理想」の文字は、その名の通り書道に励む子供たちの理想となる作品となりました。



堀さんの作品



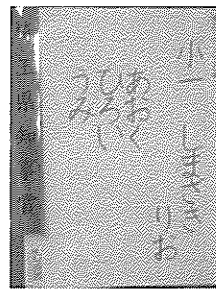
齋藤君の作品

埼玉県知事賞！

仏子小学校 一年

島崎 理央さん

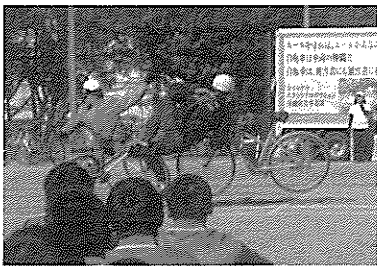
第五十四回埼玉県硬筆中央展覧会で、仏子小学校一年の島崎理央さんの作品が最高賞の埼玉県知事賞に選ばれました。力強く美しい作品に仕上がりました。



島崎さんの作品

スタントマンによる 自転車交通安全教室

小学五・六年生と中学生を対象に、スタントマンによる自転車交通安全教室を金子中・藤沢中・豊岡中・武蔵中の四中学校区で実施しました。交通事故をスタントマンが再現し、交通ルールの大切さを学習しました。

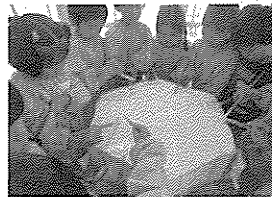


自転車同士がぶつかったところ

あずま幼稚園の教育

幼児理解を通した魅力ある教育活動の創造

～園児が輝き教師・保護者が輝くあずま幼稚園～



協同製作「ケーキ作り」



組体操「花」

【成果】幼児一人一人の理解を通した学びの中でその子の良さを引き出せました。それが自信になり、魅力ある活動が展開できています。

おめでとう 滝口悠生さん

人間市出身、扇小・向原中卒業の作家、滝口悠生さんが第一五四回芥川賞を受賞しました。

編集後記

今年の干支は「申(サル)」。申は、果実が成熟して固まっていく状態を表しています。また、申には病や厄が「去る」という云われもあり、縁起の良いものとされています。二十七年度の成果が実り多いものでありますように、皆様のご活躍を願っております。